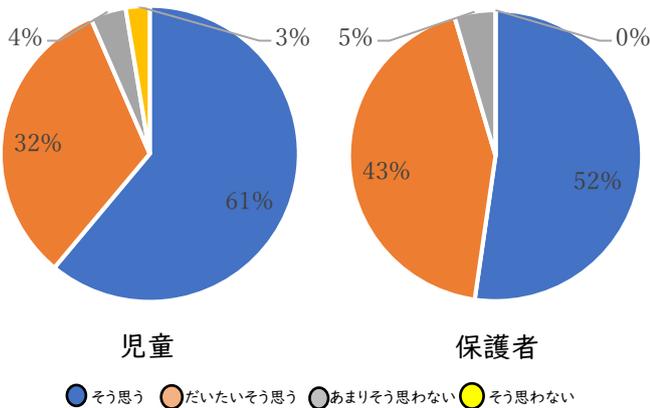
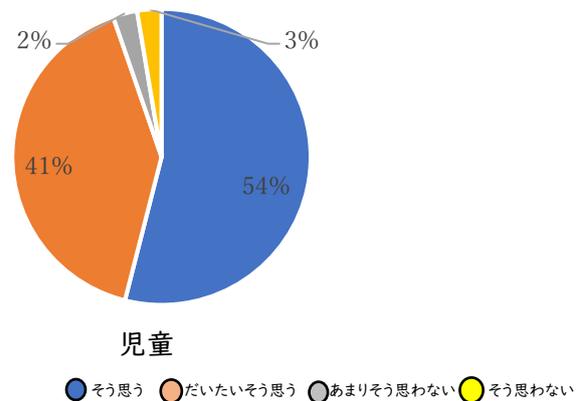


①楽しく学校に行っていますか。



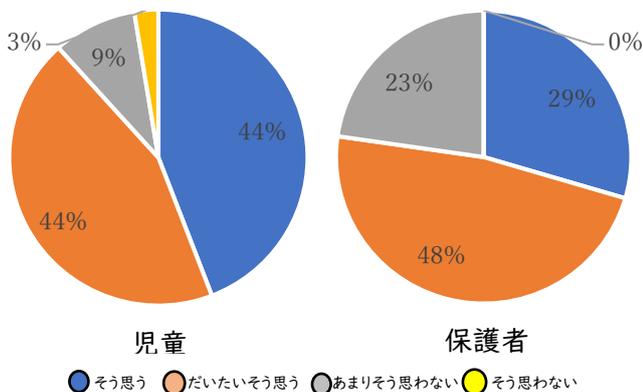
児童・保護者ともに9割以上が「楽しく学校に行っている」との回答結果であった。⇒普段の授業や学校生活、学校行事等で児童の実態に寄り添った取組の結果であると考えられる。一方で「楽しくない」と感じている児童も一割弱あった。普段の児童の様子に心を配って声をかけたり、保護者と連携しながら対応したりすることで、より楽しく学校に来ることができるよう職員全員で共通理解し、取り組んでいく必要がある。

②夢(めあて)や目標をもってがんばっていますか。



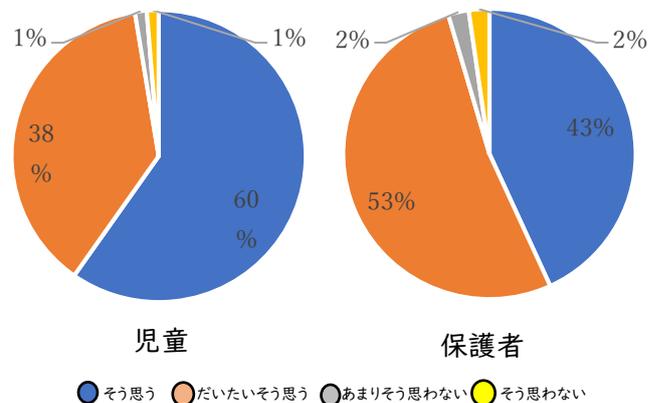
「そう思う」と回答した児童が昨年度と比較して、5ポイントの増、肯定的な回答が95%で10ポイントの増となっている。学習や行事、生活面などでより良い姿を意識し、努力している姿が見られる。⇒友だち発見、行事、キャリアパスポートの取組、児童会を中心とした児童の自治的活動など、日々の取組を通じて、今後も、夢(めあて)や目標を持って努力する態度や自ら考え行動する児童を目指し、大路小の学校風土を培っていく。

③失敗や間違いを恐れず、挑戦していますか。



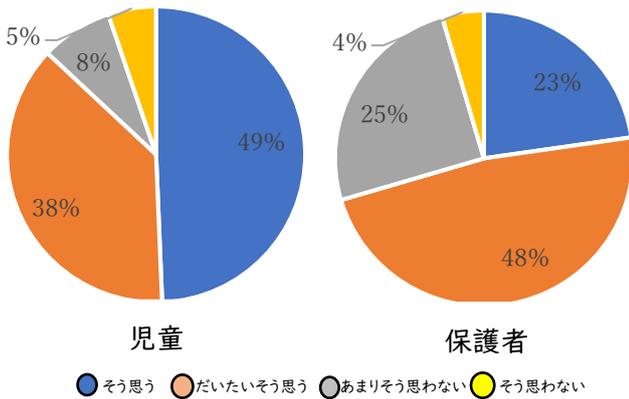
昨年度と比べ、肯定的な回答した児童が9割近く、保護者においては、8割近くある。昨年度と比較すると、児童は若干の増、保護者は6ポイントの減である。⇒アンケート②の結果にも現れているように、問題解決や目標に向かって努力する児童は多い。児童が自分の伸び、良さ、力などを振り返り、自信を持って課題に取り組んでいくことができるよう、支援をしていく。また、結果だけでなく、努力する姿や目標に向かって主体的に取り組む姿を評価し、チャレンジする態度を育てていく。

④誰とも仲良くできていますか。



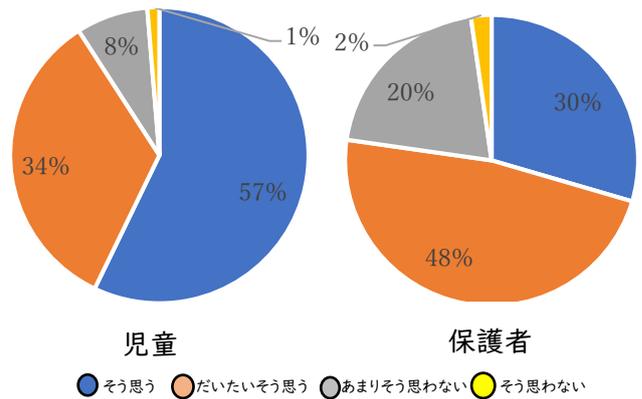
児童・保護者ともに9割強が肯定的な意見であった。⇒普段の学校生活や縦割り班活動(ロングタイムや掃除)、人権教育(ひみつの友だち等)の取組でお互いの良いところを見つけたり、大切にしたりする気持ちが育っていることが考えられる。これらの活動を継続するとともに、相手を傷つける言動や行動を許さない指導を職員全体で共通理解し、担任を中心とした複数体制できめ細やかな対応を続けていく。

⑤自分から気持ちのよい声であいさつしていますか。



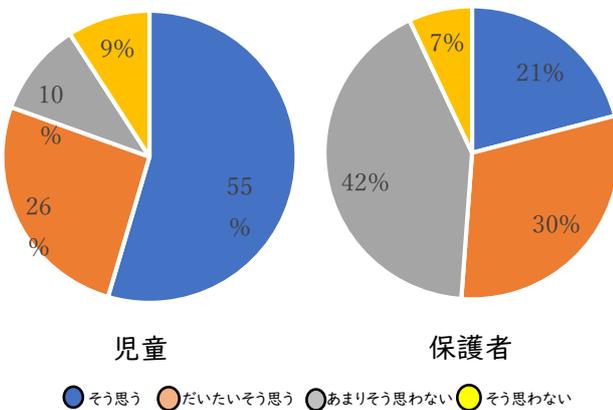
児童は約 8 割、保護者は 7 割が肯定的な結果が出た。⇒児童会による挨拶運動や教師による啓発を続けているが、元気に挨拶をする児童とそうでない児童の差が大きいと考えられる。児童に対して、挨拶の大切さを啓発する取組を継続し、気持ちの良い声で挨拶ができている児童を紹介することで一人一人の意欲が向上することが考えられる。また、家庭にも啓発し、連携しながら気持ちのよい挨拶ができるように働きかけていく必要がある。

⑥授業中は、しっかり話を聞き、発表し、自分の考えを書いていますか。



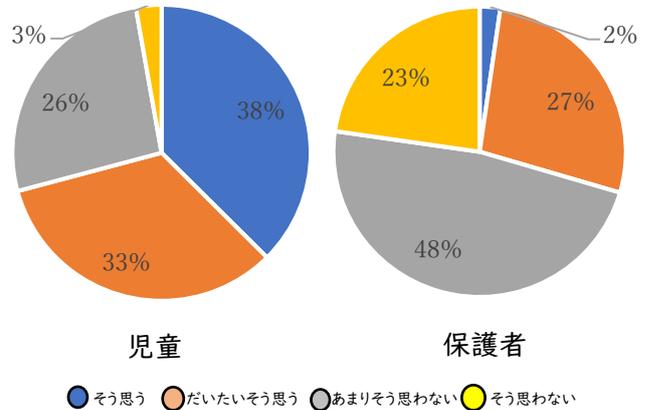
児童は 9 割、保護者は約 8 割が肯定的な回答であった。⇒どの学年でも教師の話をよく聞き学習に向かうことができているように思う。発表については、する子としない子の差はあるが、人数的にも 1 時間で一人一人が発表できる時間が保障されているので、発表に消極的な児童に対しては教師からの励ましや声掛けを引き続き行っていくことが必要であると考えられる。また、児童に比べ保護者の肯定的な回答が低い要因として授業中の様子を知る機会が少ないことも考えられるため、通信や懇談等で児童の様子を積極的に発信していくことも大切である。

⑦本を読むのが好きですか。



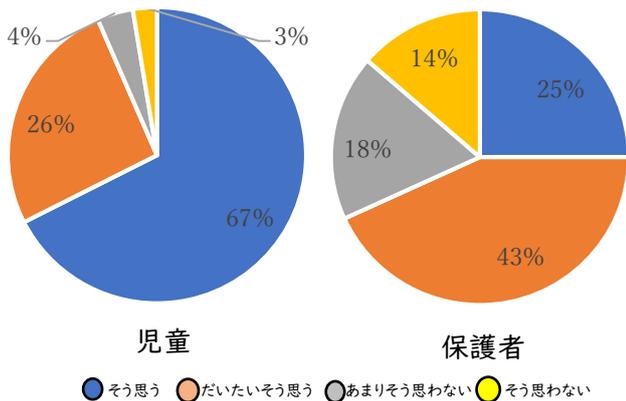
児童は 8 割、保護者は 5 割が肯定的な回答であった。⇒朝の時間に図書室を利用する児童が多く、読書通帳が貯まっていくことに喜びを感じている児童も多いように感じる。そういった読書に対する児童の姿が上手く保護者に伝わっていないので、今後も家読や週末読書を中心に家庭と連携した取組が必要だと感じる。

⑧詩を読んだり書いたりすることは好きですか。



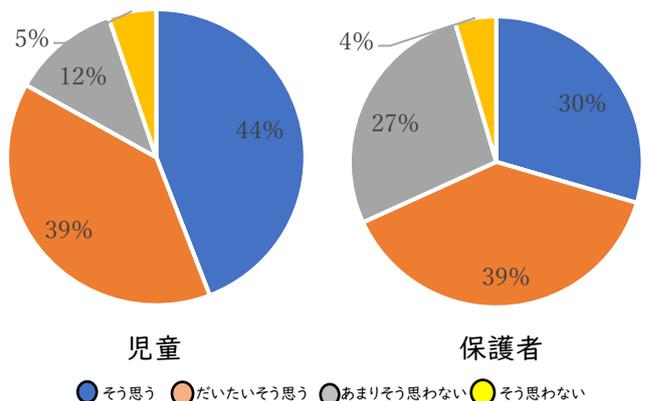
児童は 7 割、保護者は 3 割が肯定的な回答であった。⇒児童については、毎週詩を書く活動が定着している。それを好きと思いながらやっている児童が多いことは大変素晴らしいと思う。今後も大路小学校の特色ある学習活動として続けていきたいと思う。保護者については、詩の掲示や詩集「ごんろくの詩」を通して、児童の詩を目にする機会が多いはずであるが、肯定的な回答が多かった。

⑨ 大路漢字検定・計算検定に意欲的に取り組んでいますか。



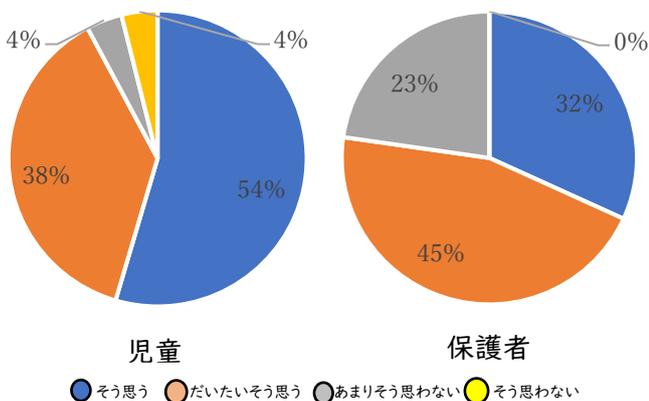
児童は9割、保護者は約7割が肯定的な回答であった。⇒児童については検定に向けて学校や家庭で熱心に取り組むことができている。問題数も多く合格基準も高いが、それが児童にとって良い刺激となり、合格した時の達成感を味わうものになっているのではないかと思う。保護者についても家庭で学習している様子や子どもからの合格の報告によって、意欲的な姿が伝わっているように感じる。

⑩ 家庭学習は、学年のめやすの時間でできていますか。



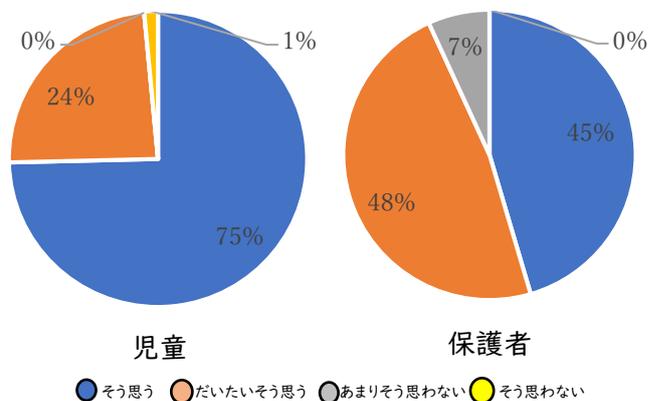
児童は8割、保護者は7割が肯定的な回答であった。⇒どの学年も学年に応じた内容・量の家庭学習が出され、しっかり取り組むことができているように思う。また、その姿が多くの保護者にも伝わっている。しかしながら、否定的な回答が昨年度に比べ1割増えていることから、家庭学習に取り組むことが難しい児童については本人の声掛けや励まし、家庭と連携した取り組みが必要になってくる。また、家庭学習の手引きも4月に出したきりになっているので、定期的に児童・保護者と確認する場があっても良いのかと思う。

⑪ 地域の人との学習を楽しみにしていますか。



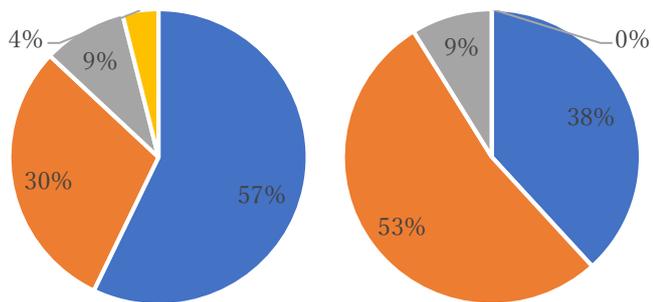
児童の9割以上、保護者の8割近くが肯定的な回答をしており、地域の人との学習に魅力を感じ楽しみにしていることがうかがえる。⇒今後も学校支援コーディネーターと連携を図り、地域の方々の協力を得ながら、さらに魅力を感じられるような教育活動を行う。

⑫ 自分の住んでいる「ふるさと大路」が好きですか。



「そう思う」と回答した児童が昨年度より、6ポイント減っているが、昨年度同様、100%に近い児童・保護者が肯定的な回答をしている。地域の方々との学習を通してふるさとの良さを感じているようである。⇒教師自身の研修も進めながら、地域の教育資源を積極的に活用し、地域の良さや地域の方々の思いが感じられるよう、指導方法の工夫を行う。

⑬自分によいところがありますか。



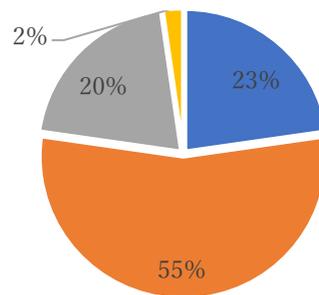
児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

児童・保護者ともに9割が肯定的な回答をしている。特に児童は約6割が「そう思う」と回答している。⇒落ち着いた学習する雰囲気や友達と仲良く生活できる大路っ子の良さが感じられる結果となった。毎日の児童に対する言葉がけやキャリアパスポートで自分自身を振り返る活動、自分発見等の一人一人を大切に取組を継続していく。

⑭学校だより、校長室だより、保健だより、学級通信、ホームページなどで、学校の様子がよく伝わっていますか。

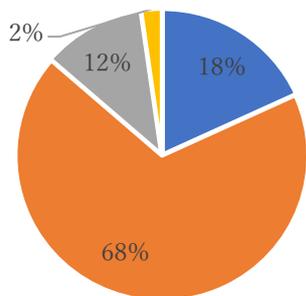


保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

8割近くが肯定的な回答であった。⇒ホームページ、メール、紙媒体などさまざまな方法を用いて学校の様子を発信しているが、十分でないところもある。本年度はホームページの定期的な更新を行った。家庭と学校の連携を密にするためにも、ニーズに合った効果的な発信方法を検討し実践していく。

⑮あいさつや返事、優しい言葉がけの習慣がついていますか。



保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

約8割の保護者が肯定的に回答している。⇒挨拶や返事、優しい言葉がけは人を大切にする事だという指導を継続し、家庭でも子ども一人一人に言葉がけをして頂けるように、通信やHP等を使って学校の様子を紹介し、家庭との連携を図っていく。